



2021年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2021年5月13日

上場会社名 アツギ株式会社

上場取引所 東

コード番号 3529 URL <https://www.atsugi.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 工藤 洋志

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理統括

(氏名) 古川 雅啓

TEL 046-235-8107

定時株主総会開催予定日 2021年6月29日

有価証券報告書提出予定日 2021年6月29日

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	16,228	17.3	2,593		1,995		3,826	
2020年3月期	19,621	10.3	461		204		5,933	

(注) 包括利益 2021年3月期 1,544百万円 (%) 2020年3月期 7,775百万円 (%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円銭	円銭	%	%	%
2021年3月期	238.72		11.0	4.6	16.0
2020年3月期	370.10		14.9	0.4	2.4

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 49百万円 2020年3月期 35百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
2021年3月期	44,343	33,956	76.3	2,110.50
2020年3月期	42,395	35,756	84.0	2,222.64

(参考) 自己資本 2021年3月期 33,827百万円 2020年3月期 35,630百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	2,949	522	2,069	7,403
2020年3月期	1,013	158	479	7,461

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭	百万円	%	%
2020年3月期		0.00		15.00	15.00	240		0.6
2021年3月期		0.00		0.00	0.00			
2022年3月期(予想)								

(注) 2022年3月期の配当につきましては、現段階では未定とし、業績予想の開示が可能となった段階で、配当予想を速やかに公表いたします。

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

2022年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスの感染症拡大が業績に与える影響を現段階において合理的に算出することが困難なことから未定としております。業績予想の開示が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期	17,319,568 株	2020年3月期	17,319,568 株
期末自己株式数	2021年3月期	1,291,371 株	2020年3月期	1,288,842 株
期中平均株式数	2021年3月期	16,029,516 株	2020年3月期	16,032,103 株

(参考)個別業績の概要

2021年3月期の個別業績(2020年4月1日～2021年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	12,692	32.4	1,944		2,138		4,221	
2020年3月期	18,782	10.5	42		1,100		6,227	

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期	263.33	
2020年3月期	388.44	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2021年3月期	41,528		32,134		77.4		2,004.87	
2020年3月期	40,931		34,824		85.1		2,172.36	

(参考) 自己資本 2021年3月期 32,134百万円 2020年3月期 34,824百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.経営成績等の概況 (4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等)	12
(企業結合等関係)	15
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16
4. 個別財務諸表	17
(1) 貸借対照表	17
(2) 損益計算書	19
(3) 株主資本等変動計算書	20

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大の影響により、様々な経済活動が制約を受けた結果、個人消費および企業収益が急速に悪化し、極めて厳しい状況となりました。緊急事態宣言の解除後は経済活動が段階的に再開され、緩やかに回復の動きが見られたものの、国内の感染者数が再び増加に転じたことを受けて、2021年1月には緊急事態宣言が再発出されるなど、経済活動の停滞や景気後退の懸念は払しょくされず、先行きは極めて不透明な状況で推移しました。

繊維業界においては、商業施設の臨時休業や営業時間短縮、外出自粛要請等に伴う消費活動の制限や衣料品の消費マインドの低下等により、実店舗における衣料品の販売は総じて苦戦するなど、厳しい環境が続いております。

このような状況において当社グループは、2018年度から2020年度までの3年間を実行期間とする中期経営計画『ATSUGI VISION 2020』で掲げる「企画・開発と営業戦略の融合」、「繊維事業におけるバランスの改革」、「製造原価の低減」、「女性の美と快適に「健康」をプラス」、「生産性の向上」の5つの課題への取り組みに加え、これらを強化するための施策として、2019年度より「事業構造改革」、「業務構造改革」、「コスト構造改革」の3つの構造改革を推進することにより、次の時代を見据えた事業構造への転換を図り、強固な事業基盤の構築に努めてまいりました。

当連結会計年度においては、当社が強化を志向するインナーウェアの販売構成比の高い株式会社レナウンインクスを完全子会社とするなどの構造改革を推し進めてまいりましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う在宅勤務の広がりや外出自粛要請等による生活様式の急激な変化等により、当社の主力商品であるストックキングの需要が急速に減少した結果、売上が年間を通じて前年を大きく下回ることとなり、また、販売の減少に伴う生産工場の収支悪化等により利益面でも大変厳しい状況で推移しました。

この結果、当連結会計年度の売上高は16,228百万円（前年同期比17.3%減）、営業損失は2,593百万円（前年同期は461百万円の損失）、経常損失は1,995百万円（前年同期は204百万円の損失）、固定資産の減損に係る会計基準に基づき保有する固定資産の減損損失を特別損失に計上したことから、親会社株主に帰属する当期純損失は3,826百万円（前年同期は5,933百万円の損失）となりました。

セグメント別の経営成績を示すと、次の通りであります。

[繊維事業]

レッグウェア分野は、新型コロナウイルス感染症の拡大による取引先店舗の臨時休業、在宅勤務や外出自粛の広がりを背景とした個人消費の冷え込み、生活様式の急激な変化等の影響を受け、プレーンストックキングなどのベーシック商品の販売が期初より苦戦し、更には最盛期である秋冬期においてもタイツなどの季節商品が伸び悩むなど全般的に厳しく、同分野の売上高は9,899百万円（前年同期比34.2%減）となりました。

インナーウェア分野は、レッグウェア同様、新型コロナウイルス感染症の拡大による取引先店舗の営業自粛、在宅勤務や外出自粛等の影響を受けましたが、株式会社レナウンインクスを子会社化したことなどにより、同分野の売上高は5,073百万円（前年同期比51.0%増）となりました。

これらの結果、繊維事業の売上高は14,972百万円（前年同期比18.7%減）、営業損失は2,922百万円（前年同期は690百万円の損失）となりました。

[不動産事業]

保有資産の有効活用を進めておりますが、当事業の売上高は571百万円（前年同期比0.1%増）、営業利益は391百万円（前年同期比27.1%増）となりました。

[その他]

その他の事業につきましては、太陽光発電による売電は順調に推移しました。介護用品の販売は外出自粛の影響などにより一時苦戦しましたが、その後は堅調に推移し、また、2020年4月より認知症高齢者向け介護施設であるグループホームを開設しました。これらの結果、当事業の売上高は683百万円（前年同期比6.8%増）、営業利益は31百万円（前年同期比8.6%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における総資産は44,343百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,948百万円増加いたしました。主な増減内容は、収益性の低下等が見込まれる繊維事業、不動産事業にかかる事業用資産および全社資産において減損処理を行ったこと等による有形固定資産の減少1,577百万円、投資有価証券の増加1,560百万円、売上債権の増加897百万円およびたな卸資産の増加489百万円等によるものであります。

負債の部は10,386百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,747百万円増加いたしました。これは主に、一年内返済予定を含む長期借入金の増加2,321百万円および未払金の増加1,050百万円等によるものであります。

純資産の部は33,956百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,799百万円減少いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純損失3,826百万円の計上による減少や、前期決算に係る配当金240百万円による減少、その他の包括利益累計額の増加2,279百万円等によるものであります。

この結果、当連結会計年度末の自己資本比率は、前連結会計年度末の84.0%から76.3%となっております。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

[営業活動によるキャッシュ・フロー]

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純損失3,977百万円の計上や仕入債務の減少2,467百万円、減損損失2,311百万円、減価償却費482百万円等により、2,949百万円の支出となりました。

[投資活動によるキャッシュ・フロー]

投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の売却による収入996百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式等の取得による支出327百万円等により、522百万円の支出となりました。

[財務活動によるキャッシュ・フロー]

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れによる収入2,352百万円、配当金の支払い238百万円等により、2,069百万円の支出となりました。

この結果、当連結会計年度末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ58百万円減少し、7,403百万円となりました。

(4) 今後の見通し

わが国経済の今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の収束の見通しが立っておらず、先行き不透明な状況が続くことが見込まれます。企業活動においては、コロナ禍における巣ごもり需要を捉えて業績が上向く企業がある一方、一部の企業は現在もお外出自粛や消費低迷の影響を受け苦境が続くなど、企業業績の回復度合いにも二極化の傾向が表れており、この傾向は今後も更に進むことが予想されます。

当社グループを取り巻く小売・アパレル業界においては、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う商業施設の臨時休業や時間短縮、感染予防対策としての外出自粛要請等により、実店舗における衣料品の販売が苦戦するなど、大変厳しい経営環境が続いております。

このような厳しい経営環境のもと、当社グループは、2020年度が最終年度となる中期経営計画『A T S U G I V I S I O N 2 0 2 0』の取り組みとこれらを強化するための構造改革を進めてまいりました。2020年度においては、国内生産拠点における人員削減と生産体制の見直し等の更なる合理化の推進やインナーウェアに強みを持つ株式会社レナウンインクスの完全子会社化などの構造改革を推し進め、一定の成果も見られました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による在宅勤務の急拡大や外出自粛などに伴う「新しい生活様式」が当社の主力商品であるストック需要の急速な減少を招き、年間を通じて主力商品であるストックやタイツ関係の販売が大幅に落ち込み、これらが収支改善を目指す国内工場の稼働にも甚大な影響を及ぼすこととなり、収益面でも非常に厳しい状況で推移いたしました。この状況を踏まえ、当社における希望退職者募集等の追加の販管費削減施策を実施いたしました。中期経営計画の最終年度は3期連続の最終損失という大変不本意な結果に終わりました。

2021年3月期をもって中期経営計画『A T S U G I V I S I O N 2 0 2 0』が終了することに伴い、当社グループは、中期ビジョンに沿った新たな中期経営計画を策定し、公表する準備を進めてまいりました。しかしながら、上記の通り、当社グループを取り巻く経営環境はこの1年間で急激に変化しており、また、依然として新型コロナウイルス感染症拡大の収束が見通せない中、今後の事業活動への長期影響は避けられず、当社グループを取り巻く経営環境は極めて不確実性の高い状況にあることなどから、これらの現状を鑑み、現段階で数値計画を含む中期的な経営計画を公表することは株主の皆様への投資判断に混乱を生じさせてしまう可能性があるとの判断し、次期中期経営計画の公表を延期することといたしました。詳細につきましては、本日公表の「次期中期経営計画公表の延期および2022年3月期に取り組むべき経営課題に関するお知らせ」をご覧ください。

2022年3月期の連結業績予想および配当予想につきましても、新型コロナウイルスの感染症拡大が業績に与える影響を現段階において合理的に算出することが困難なことから未定としております。業績予想および配当予想の開示が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

今後、当社グループは、ポストコロナの時代を見据えた中長期の取り組みを進めつつ、足元の業績を回復軌道に乗せる必要があります。このため、「事業構造改革」、「業務構造改革」、「コスト構造改革」の3つの構造改革を引き続き推進していくとともに、足元の業績悪化を食い止めるため、「売上高の回復」、「株式会社レナ

ウンインクスとのシナジー創出」、「国内基幹工場のアツギ東北株式会社の収支改善」の3つの課題にスピード感をもって対処してまいります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性および企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,120	8,111
受取手形及び売掛金	3,198	4,095
商品及び製品	5,001	5,606
仕掛品	1,421	1,365
原材料及び貯蔵品	491	432
その他	495	1,029
貸倒引当金	△113	△128
流動資産合計	18,615	20,512
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	14,818	14,619
減価償却累計額	△13,091	△13,282
建物及び構築物（純額）	1,726	1,337
機械装置及び運搬具	13,845	14,071
減価償却累計額	△11,962	△12,332
機械装置及び運搬具（純額）	1,882	1,738
土地	13,098	12,213
建設仮勘定	209	29
その他	750	783
減価償却累計額	△706	△719
その他（純額）	43	63
有形固定資産合計	16,960	15,383
無形固定資産		
土地使用権	163	167
ソフトウェア	3	8
その他	0	2
無形固定資産合計	167	178
投資その他の資産		
投資有価証券	6,448	8,009
繰延税金資産	12	0
その他	193	261
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	6,652	8,268
固定資産合計	23,780	23,830
資産合計	42,395	44,343

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,981	1,729
1年内返済予定の長期借入金	—	470
未払法人税等	133	70
賞与引当金	102	80
返品調整引当金	—	67
その他	840	2,033
流動負債合計	3,057	4,452
固定負債		
長期借入金	—	1,850
繰延税金負債	594	1,349
再評価に係る繰延税金負債	1,479	1,286
退職給付に係る負債	1,221	1,155
その他	285	291
固定負債合計	3,581	5,934
負債合計	6,639	10,386
純資産の部		
株主資本		
資本金	31,706	20,000
資本剰余金	9,345	16,148
利益剰余金	△5,509	△4,686
自己株式	△1,462	△1,464
株主資本合計	34,079	29,997
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	751	2,448
繰延ヘッジ損益	142	206
土地再評価差額金	377	388
為替換算調整勘定	280	785
その他の包括利益累計額合計	1,551	3,830
非支配株主持分	125	128
純資産合計	35,756	33,956
負債純資産合計	42,395	44,343

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	19,621	16,228
売上原価	13,613	12,534
売上総利益	6,007	3,693
販売費及び一般管理費	6,468	6,286
営業損失(△)	△461	△2,593
営業外収益		
受取利息	28	32
受取配当金	209	198
為替差益	—	54
補助金収入	—	365
その他	93	82
営業外収益合計	332	733
営業外費用		
支払利息	—	5
持分法による投資損失	35	49
支払手数料	10	59
為替差損	8	—
租税公課	4	3
その他	16	17
営業外費用合計	75	135
経常損失(△)	△204	△1,995
特別利益		
固定資産売却益	0	—
投資有価証券売却益	—	664
負ののれん発生益	—	142
特別利益合計	0	806
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	2	41
減損損失	5,287	2,311
投資有価証券評価損	—	334
特別退職金	—	100
特別損失合計	5,290	2,787
税金等調整前当期純損失(△)	△5,495	△3,977
法人税、住民税及び事業税	110	33
法人税等調整額	316	△184
法人税等合計	426	△150
当期純損失(△)	△5,921	△3,826
非支配株主に帰属する当期純利益	11	0
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△5,933	△3,826

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純損失(△)	△5,921	△3,826
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,541	1,697
繰延ヘッジ損益	83	64
為替換算調整勘定	△389	516
持分法適用会社に対する持分相当額	△6	4
その他の包括利益合計	△1,853	2,282
包括利益	△7,775	△1,544
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△7,776	△1,558
非支配株主に係る包括利益	1	14

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	31,706	9,345	2,064	△1,460	41,655
当期変動額					
剰余金の配当			△481		△481
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△5,933		△5,933
自己株式の取得				△2	△2
土地再評価差額金の取崩			△1,159		△1,159
その他			△0		△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	△7,573	△2	△7,576
当期末残高	31,706	9,345	△5,509	△1,462	34,079

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	2,293	58	△781	665	2,234	124	44,015
当期変動額							
剰余金の配当							△481
親会社株主に帰属する当期純損失(△)							△5,933
自己株式の取得							△2
土地再評価差額金の取崩							△1,159
その他							△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△1,541	83	1,159	△385	△683	1	△682
当期変動額合計	△1,541	83	1,159	△385	△683	1	△8,258
当期末残高	751	142	377	280	1,551	125	35,756

当連結会計年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	31,706	9,345	△5,509	△1,462	34,079
当期変動額					
資本金から剰余金への振替	△11,706	11,706			—
欠損填補		△4,662	4,662		—
剰余金の配当		△240			△240
親会社株主に帰属する当期純損失（△）			△3,826		△3,826
自己株式の取得				△1	△1
土地再評価差額金の取崩			△11		△11
その他			△2		△2
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	△11,706	6,802	822	△1	△4,082
当期末残高	20,000	16,148	△4,686	△1,464	29,997

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	751	142	377	280	1,551	125	35,756
当期変動額							
資本金から剰余金への振替							—
欠損填補							—
剰余金の配当							△240
親会社株主に帰属する当期純損失（△）							△3,826
自己株式の取得							△1
土地再評価差額金の取崩							△11
その他							△2
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	1,697	64	11	505	2,279	3	2,282
当期変動額合計	1,697	64	11	505	2,279	3	△1,799
当期末残高	2,448	206	388	785	3,830	128	33,956

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純損失 (△)	△5,495	△3,977
減価償却費	721	482
減損損失	5,287	2,311
のれん償却額	—	12
負ののれん発生益	—	△142
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△9	15
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△12	△26
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	—	31
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△68	△380
受取利息及び受取配当金	△238	△230
支払利息	—	5
持分法による投資損益 (△は益)	35	49
補助金収入	—	△365
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△664
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	334
有形固定資産除却損	2	41
有形固定資産売却損益 (△は益)	△0	0
特別退職金	—	100
売上債権の増減額 (△は増加)	727	207
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△294	571
仕入債務の増減額 (△は減少)	△45	△2,467
未払消費税等の増減額 (△は減少)	102	△285
その他	264	926
小計	976	△3,450
利息及び配当金の受取額	238	230
補助金の受取額	—	321
利息の支払額	—	△5
特別退職金の支払額	—	△24
法人税等の支払額	△201	△21
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,013	△2,949
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△658	△691
定期預金の払戻による収入	688	708
有形固定資産の取得による支出	△374	△147
有形固定資産の売却による収入	0	0
無形固定資産の取得による支出	△3	△24
投資有価証券の取得による支出	△35	△35
投資有価証券の償還による収入	224	—
投資有価証券の売却による収入	—	996
補助金の受取額	—	44
連結の範囲の変更を伴う子会社株式等の取得による支出	—	△327
投資活動によるキャッシュ・フロー	△158	522
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△477	△238
非支配株主への配当金の支払額	—	△11
自己株式の取得による支出	△2	△1
長期借入れによる収入	—	2,352
長期借入金の返済による支出	—	△31
財務活動によるキャッシュ・フロー	△479	2,069
現金及び現金同等物に係る換算差額	△152	299
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	223	△58
現金及び現金同等物の期首残高	7,238	7,461
現金及び現金同等物の期末残高	7,461	7,403

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、レグウェアの製造販売を主要な事業として展開しており、「繊維事業」「不動産事業」を報告セグメントとしております。

「繊維事業」は、主にレグウェア、インナーウェアの製造及び販売を行っております。「不動産事業」は、分譲土地の購入及び販売、土地及び建物の賃貸事業を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。報告セグメントの利益又は損失は、営業利益又は損失ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	計	調整額 (注) 2	連結財務諸 表計上額 (注) 3
	繊維事業	不動産事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	18,409	571	18,980	640	19,621	—	19,621
セグメント間の内部売上高又は振替高	4	—	4	0	4	△4	—
計	18,413	571	18,984	640	19,625	△4	19,621
セグメント利益又は損失(△)	△690	308	△382	28	△353	△107	△461
セグメント資産	27,213	7,990	35,203	1,553	36,756	5,638	42,395
その他の項目							
減価償却費(注) 4	550	63	614	76	691	30	721
のれんの償却費	—	—	—	—	—	—	—
持分法適用会社への投資額	45	—	45	—	45	—	45
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	185	53	238	200	439	—	439

当連結会計年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	計	調整額 (注) 2	連結財務諸 表計上額 (注) 3
	繊維事業	不動産事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	14,972	571	15,544	683	16,228	—	16,228
セグメント間の内部売上高又は振替高	2	—	2	0	3	△3	—
計	14,975	571	15,547	684	16,231	△3	16,228
セグメント利益又は損失(△)	△2,922	391	△2,531	31	△2,499	△93	△2,593
セグメント資産	30,454	6,829	37,284	1,478	38,762	5,580	44,343
その他の項目							
減価償却費(注) 4	320	60	380	80	460	21	482
のれんの償却費	12	—	12	—	12	—	12
持分法適用会社への投資額	0	—	0	—	0	—	0
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	150	—	150	8	158	774	933

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり介護用品の仕入、販売、グループホームの運営および太陽光発電による売電であります。

2. 調整額の内容は、以下のとおりです。

セグメント利益又は損失

（単位：百万円）

	前連結会計年度	当連結会計年度
全社費用	△107	△93
合計	△107	△93

※ 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない、本社等の土地・建物（転用を検討中の土地・建物を含む）に係る費用であります。

セグメント資産

（単位：百万円）

	前連結会計年度	当連結会計年度
全社資産	5,638	5,580
合計	5,638	5,580

※ 全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない、本社等の土地・建物（転用を検討中の土地・建物を含む）および長期投資資金(投資有価証券)であります。

3. セグメント利益又は損失は、連結財務諸表の営業損失と調整を行っております。

4. 減価償却費には、長期前払費用に係る償却額が含まれております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他	全社・消去	合計
	繊維事業	不動産事業	計			
減損損失	5,185	—	5,185	—	101	5,287

(注) 繊維事業において、収益性の低下等により投資額の回収が見込めなくなった一部の生産拠点および物流センター等の事業用資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減損処理しております。また、報告セグメントに帰属しない全社資産において、一部資産の市場価格が下落したことから、帳簿価額を回収可能価額まで減損処理しております。これらの結果、繊維事業において5,185百万円および報告セグメントに帰属しない全社資産において101百万円の減損損失を計上しております。

当連結会計年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他	全社・消去	合計
	繊維事業	不動産事業	計			
減損損失	268	276	544	—	1,766	2,311

(注) 繊維事業、不動産事業および報告セグメントに帰属しない全社資産において、収益性の低下等により投資額の回収が見込めなくなった事業用資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減損処理しております。これらの結果、繊維事業において268百万円、不動産事業において276百万円および報告セグメントに帰属しない全社資産において1,766百万円の減損損失を計上しております。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

繊維事業において、株式会社レナウンインクスの株式を取得し、連結子会社としたことにより、負ののれん発生益を特別利益に142百万円計上しております。

(企業結合等関係)

(取得による企業結合)

当社は、2020年8月20日開催の取締役会において、株式会社レナウンインクスの全株式を取得し子会社化することについて決議し、同日付で株式譲渡契約を締結し、2020年10月1日付で全株式を取得しました。

(1) 企業結合の概要

①被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称：株式会社レナウンインクス

事業の内容：繊維製品（肌着・靴下・その他）の製造・販売

②企業結合を行った主な理由

株式会社レナウンインクスは当社が強化を志向しているインナーウェアの販売構成比が高く、紳士・婦人ともに幅広い品揃えを有しており、販売ルートにおいても、百貨店からチェーンストアまで幅広い販路を構築しております。また、同社は、当社と親和性の高いレグウェア・インナーウェア商品を取り扱っておりますが、両者の商品は、主力商品群の商品構成をはじめ、企画・デザイン・調達面等における重複が少ないため、互いに補完関係があり、縮小する国内市場における競争力強化とシェア拡大に繋がることが期待できます。

これらを総合的に勘案した結果、当社グループが掲げる事業構造改革の方向性にも合致し、様々な部分で将来的なシナジー効果を発揮できるものと判断し、同社の株式を取得し子会社化いたしました。

③企業結合日

2020年10月1日

④企業結合の法的形式

株式取得

⑤結合後企業の名称

変更はありません。

⑥取得した議決権比率

100%

⑦取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得したことによるものです。

(2) 連結財務諸表に含まれる被取得企業の業績の期間

被取得企業の決算日は12月31日ですが、連結決算日との差異が3ヶ月を超えていないため、連結財務諸表の作成にあたっては同日現在の財務諸表を使用しております。被取得企業のみなし取得日を2020年10月1日としていることから、当連結会計年度の連結損益計算書には被取得企業の2020年10月1日から12月31日までの業績が含まれております。

(3) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

株式譲渡契約において秘密保持義務を定めていることから非開示としております。

(4) 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザーに対する報酬・手数料等 41百万円

(5) 負ののれん発生益の金額、発生原因

①発生した負ののれん発生益の金額

142百万円

②発生原因

被取得企業の企業結合時の時価純資産額が取得原価を上回ったため、その差額を負ののれん発生益として認識しています。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産	2,222.64円	2,110.50円
1株当たり当期純損失(△)	△370.10円	△238.72円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純損失 (△) (百万円)	△5,933	△3,826
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純損失(△) (百万円)	△5,933	△3,826
普通株式の期中平均株式数 (千株)	16,032	16,029

3. 1株当たり純資産の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
純資産の部の合計額 (百万円)	35,756	33,956
純資産の部の合計額から控除する金額		
(うち非支配株主持分) (百万円)	(125)	(128)
普通株式に係る期末の純資産 (百万円)	35,630	33,827
1株当たり純資産の算定に用いられた 期末の普通株式の数 (千株)	16,030	16,028

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 個別財務諸表

(1) 貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当事業年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,030	4,192
受取手形	52	60
売掛金	3,008	2,287
商品及び製品	4,670	4,635
原材料及び貯蔵品	20	23
前払費用	70	73
その他	965	998
貸倒引当金	△5	△3
流動資産合計	13,811	12,268
固定資産		
有形固定資産		
建物	988	367
構築物	3	6
機械及び装置	561	495
車両運搬具	0	0
土地	13,192	12,213
建設仮勘定	0	0
その他	0	0
有形固定資産合計	14,747	13,083
無形固定資産		
ソフトウェア	0	0
その他	0	1
無形固定資産合計	0	1
投資その他の資産		
投資有価証券	6,448	8,009
関係会社株式	341	381
関係会社出資金	4,259	4,178
関係会社長期貸付金	2,619	5,624
破産更生債権等	3	3
長期前払費用	11	37
その他	120	159
貸倒引当金	△1,433	△2,219
投資その他の資産合計	12,370	16,175
固定資産合計	27,119	29,260
資産合計	40,931	41,528

(単位：百万円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当事業年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	294	477
買掛金	1,623	1,618
1年内返済予定の長期借入金	—	470
未払金	251	1,292
未払費用	71	66
未払法人税等	122	41
前受金	74	59
預り金	16	23
賞与引当金	67	50
債務保証損失引当金	48	53
その他	87	—
流動負債合計	2,658	4,155
固定負債		
長期借入金	—	1,850
繰延税金負債	492	1,018
再評価に係る繰延税金負債	1,492	1,286
退職給付引当金	1,178	797
その他	284	285
固定負債合計	3,448	5,238
負債合計	6,106	9,394
純資産の部		
株主資本		
資本金	31,706	20,000
資本剰余金		
資本準備金	4,927	4,951
その他資本剰余金	3,000	9,778
資本剰余金合計	7,927	14,729
利益剰余金		
利益準備金	48	48
その他利益剰余金		
固定資産圧縮積立金	36	32
繰越利益剰余金	△4,662	△4,198
利益剰余金合計	△4,578	△4,117
自己株式	△1,517	△1,518
株主資本合計	33,537	29,093
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	737	2,434
繰延ヘッジ損益	142	217
土地再評価差額金	407	388
評価・換算差額等合計	1,287	3,041
純資産合計	34,824	32,134
負債純資産合計	40,931	41,528

(2) 損益計算書

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	18,782	12,692
売上原価	13,083	9,647
売上総利益	5,698	3,045
販売費及び一般管理費	5,656	4,990
営業利益又は営業損失(△)	42	△1,944
営業外収益		
受取利息及び受取配当金	256	305
受取賃貸料	165	155
為替差益	—	78
補助金収入	—	137
その他	37	35
営業外収益合計	459	713
営業外費用		
支払利息	—	1
固定資産賃貸費用	117	46
支払手数料	10	59
為替差損	30	—
租税公課	4	3
貸倒引当金繰入額	1,430	786
その他	9	10
営業外費用合計	1,602	906
経常損失(△)	△1,100	△2,138
特別利益		
投資有価証券売却益	—	664
特別利益合計	—	664
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	0	38
減損損失	4,545	2,377
投資有価証券評価損	—	334
関係会社株式評価損	83	1
関係会社出資金評価損	222	81
特別退職金	—	100
特別損失合計	4,850	2,933
税引前当期純損失(△)	△5,950	△4,407
法人税、住民税及び事業税	16	21
法人税等調整額	260	△207
法人税等合計	276	△186
当期純損失(△)	△6,227	△4,221

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計
					固定資産圧縮積立金	繰越利益剰余金		
当期首残高	31,706	7,927	—	7,927	—	41	3,248	3,289
当期変動額								
剰余金の配当							△481	△481
利益準備金の積立					48		△48	—
準備金から剰余金への振替		△3,000	3,000	—				
固定資産圧縮積立金の取崩						△4	4	—
当期純損失(△)							△6,227	△6,227
自己株式の取得								
土地再評価差額金の取崩							△1,159	△1,159
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)								
当期変動額合計	—	△3,000	3,000	—	48	△4	△7,911	△7,867
当期末残高	31,706	4,927	3,000	7,927	48	36	△4,662	△4,578

(単位：百万円)

	株主資本		評価・換算差額等				純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	△1,515	41,407	2,278	58	△751	1,585	42,992
当期変動額							
剰余金の配当		△481					△481
利益準備金の積立		—					—
準備金から剰余金への振替		—					—
固定資産圧縮積立金の取崩		—					—
当期純損失(△)		△6,227					△6,227
自己株式の取得	△2	△2					△2
土地再評価差額金の取崩		△1,159					△1,159
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)			△1,541	83	1,159	△298	△298
当期変動額合計	△2	△7,870	△1,541	83	1,159	△298	△8,168
当期末残高	△1,517	33,537	737	142	407	1,287	34,824

当事業年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

	株主資本							
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計
					固定資産圧縮積立金	繰越利益剰余金		
当期首残高	31,706	4,927	3,000	7,927	48	36	△4,662	△4,578
当期変動額								
資本金から剰余金への振替	△11,706		11,706	11,706				
欠損填補			△4,662	△4,662			4,662	4,662
剰余金の配当			△240	△240				
資本準備金の積立		24	△24	—				
固定資産圧縮積立金の取崩						△4	4	—
当期純損失（△）							△4,221	△4,221
自己株式の取得								
土地再評価差額金の取崩							18	18
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）								
当期変動額合計	△11,706	24	6,778	6,802	—	△4	464	460
当期末残高	20,000	4,951	9,778	14,729	48	32	△4,198	△4,117

(単位：百万円)

	株主資本		評価・換算差額等				純資産合計
	自己株式	株主資本合計	其他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	△1,517	33,537	737	142	407	1,287	34,824
当期変動額							
資本金から剰余金への振替		—					—
欠損填補		—					—
剰余金の配当		△240					△240
資本準備金の積立		—					—
固定資産圧縮積立金の取崩		—					—
当期純損失（△）		△4,221					△4,221
自己株式の取得	△1	△1					△1
土地再評価差額金の取崩		18					18
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）			1,697	75	△18	1,754	1,754
当期変動額合計	△1	△4,444	1,697	75	△18	1,754	△2,689
当期末残高	△1,518	29,093	2,434	217	388	3,041	32,134